



企業や団体からの ご寄付もあります

●ご寄付いただいた企業・団体の一部をご紹介します。

令和7年12月31日時点

ご寄付の方法は(独)福祉医療機構ホームページの
「こどもの未来応援基金」ページ(右QRコード)でもご案内しています。



企業の取組み

お客様とともに
株主とともに 従業員とともに



♡ お客様とともに

募金協力

お客様や従業員の皆さまに「こどもの未来応援基金」への募金を呼び掛け、寄せられたご厚志をご寄付いただく取組みです。



(株)イトーヨーカ堂は、国内のGMS(総合スーパー)で初めて全店舗の会計レジに募金箱を設置(2016年より開始、例年3月~5月に実施)。



株式会社
デニーズジャパン

(株)デニーズジャパンも、2018年からデニーズ全店舗のレジで募金を実施。

ポイントプログラム

商品やサービスの購入に応じて付与されるポイントもしくはその一部を「こどもの未来応援基金」にご寄付いただく取組みです。定常的な寄付メニューとするほか、期間を限ってキャンペーンとして実施いただくこともあります。



(株)NTTドコモは、「dポイントクラブ」に寄付メニューを設置してdポイントによる寄付を受付。



①「dポイントクラブ」で「つかう」を選択



②「寄付」を選択

スマホ・パソコンで寄付ができます!



ドコモの回線をお持ちでない方も、「dポイントクラブ」へのご入会で、寄付していただくことが可能です。

寄付付き商品

商品やサービスの購入に応じてその一部を「こどもの未来応援基金」にご寄付いただく取組みです。定常的な寄付メニューとするほか、期間を限ってキャンペーンとして実施いただくこともあります。

寄付付きお菓子



(株)オランダ家は、「ミッフィーサブレ」と「メラニーサブレ」を寄付付き商品として販売。募金箱を店舗に設置。



© Mercis bv

寄付付き台所用スポンジ



(株)ナックは、国民運動シンボルマークを用いた特別包装の「台所用スポンジ3色セット」を寄付付き商品として販売し、売上げの一部を寄付。



寄付付きUVジェル

無添加主義®
HABA
HEALTH AID BEAUTY AID

(株)ハーバー研究所は、デリケートなこどもの肌を守る日やけ止め「UVキッズジェル」の売上の一部を寄付。路面直営店に募金箱も設置。



寄付付きパン



横浜FC((株)横浜フリエスポーツクラブ)は、ホームタウンの商店と連携し、オフィシャルマスコット「フリ丸」の焼印を使用したどらやきやパンなどを製造・販売。売上げの一部を寄付。



©YOKOHAMA FC

寄付付き私募債



(株)ほくほくフィナンシャルグループの(株)北海道銀行と(株)北陸銀行は、「SDGs私募債」の発行手数料の一部を寄付できる仕組みを実施。

[寄付のしくみ]



寄付付き投資信託



三井住友DSアセットマネジメント(株)は、同社が受け取る運用管理費用(信託報酬)の一定額が「こどもの未来応援基金」に寄付される「はぐくみプロジェクト」を開始。その一環として投資信託「三井住友DSインカムバランスNISAファンド(成長投資型)／(予想分配金提示型)」(愛称:はぐくむニーサ)を組成しました。



株主とともに

株主優待

株主優待メニューに「こどもの未来応援基金」へのご寄付を加えていただくもの。

全国の証券会社を構成員とする日本証券業協会と全国の銀行を構成員とする全国銀行協会では、株主優待を活用して主にこども・若者の貧困対策を支援する「一般社団法人株主優待こども・若者貧困対策支援機構」を設立。同機構の前身である日本証券業協会の「株主優待SDGs基金」の2022年度及び2025年度の支援先として「こどもの未来応援基金」が選定されていました。



♥ 従業員とともに

寄付型自動販売機

自動販売機の商品売上1点ごとに、「こどもの未来応援基金」に寄付される仕組み。オフィスや工場など事業所の一面に置かれるほか、商業施設の休憩コーナーに置かれることもあります。



デザインはお選びいただけます。

自動販売機の飲料売上げ1本ごとにこどもの未来応援基金に寄付される仕組み。

- 設置や置き換え、寄付金の振込代行は自動販売機会社が行います。
- 設置者は電気代のみご負担いただきます。
- ご希望により、ラッピングデザインに会社名やロゴを入れることも可能です。
- 飲料メーカーをお選びいただけます。



日本精工(株)(NSK)
オフィスや工場に設置

清水建設(株)
本社ビルに設置

KDDI(株)
オフィスなどに設置

資料請求・設置のお問い合わせ 特定非営利活動法人 寄付型自動販売機普及協会 ☎ 0120-937-650 ✉ info@kjf.or.jp

寄付付き
従業員食堂メニュー

従業員食堂に、料金の一部が「こどもの未来応援基金」に寄付されるメニューを設ける。



(株)オリエンタルランドは、同社グループの従業員食堂で、販売価格の一部に「こどもの未来応援基金」への寄付が含まれる「こどもスマイルごはん」を毎月実施し、本メニューを通じて集まった寄付金に同額を上乗せした合計金額を寄付。



「こどもスマイルごはん」メニューの一例
(鶏の照り焼きチーズソース)

ここに紹介しきれないさまざまな
ご寄付ご支援に感謝します。





こどもの未来応援 「クリック募金」

特設ウェブページの寄付ボタンをクリックすると、ユーザーに代わって賛同企業から「こどもの未来応援基金」に寄付されます。

「クリック募金」の仕組み

クリックをすると、1日1クリックにつき2円が、賛同企業から「こどもの未来応援基金」に寄付されます。



- ①クリックに対し、金銭的な負担はかかりません。
- ②1クリックにつき2円が、あなたの代わりに賛同企業から「こどもの未来応援基金」へ寄付されます。
- ③クリックは1日1回しかカウントされません。

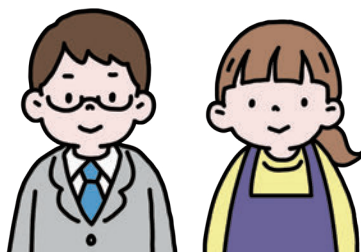
参加をお考えの企業様へ

- ・ご寄付元となる賛同企業へのご参加を、いつでも歓迎いたします。
- ・賛同企業は、ご予算に応じてご寄付金額に上限を設けることができます。
- ・お問い合わせは下記へ『「こどもの未来応援基金」クリック募金について知りたい』とご連絡ください。

クリック募金のお問い合わせ

こども家庭庁支援局家庭福祉課
「こどもの未来応援国民運動」事務局

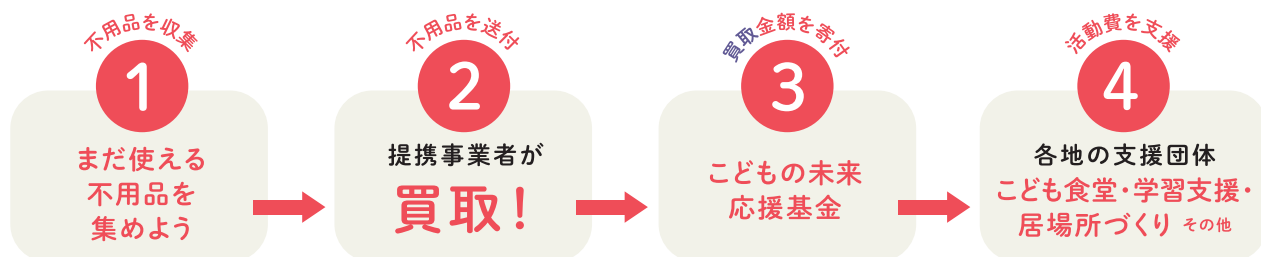
☎ 03-6771-8030 (大代表)



リユース品を介した、 さまざまな寄付の仕組み

読み終えた本や聴かなくなった音楽CD、見なくなったDVD、着なくなった
こども服や学生服など、まだ使える「不用品」をお寄せいただくと、提携業者が
買い取り、そのお金が「こどもの未来応援基金」に寄付される仕組みです。

— 自宅で不用になった商品の買い取り額が寄付される —



古本など



VB VALUE BOOKS

(株)バリューブックスとの提携により、本や音楽CDなど
をご寄付いただくと、その買取査定額が「こどもの未来応
援基金」に寄付される「こどものみらい古本募金」を実
施。バリューブックスに直接お送りいただくほか、協力企
業の回収ボックスにお持ちいただくこともできます。回収
ボックスは、日本証券業協会加盟の証券会社店舗や、信
用金庫の各店舗に置かれています。

寄付できるもの

- ISBNがついた本
- DVD/CDアルバム
- コミックセット
- ゲームソフト

古すぎるもの、傷みがひどいものなど、取扱いができないものもあります。

はがきや切手など



新しい「お宝」でNPOに寄付できるプログラム
お宝エイド®

TMコミュニケーションサービス(株)は、物品買取サー
ビス「お宝エイド」を通じて「こどもの未来応援基金」に寄
付。未使用の切手やはがき、商品券、使わなくなった楽
器などをお寄せいただくと、買取査定金額に10%上乘せ

寄付できるもの

- 書き損じはがき・年賀はがき
- 金・貴金属・宝石類
- 図書券・テレカ・各種金券
- ブランド品・時計
- 骨董品・絵画・掛軸
- 記念コイン・メダル
- 未使用切手・記念切手
- カメラ・レンズ など

その他、受付アイテムについてはお宝エイド受付センターまでお問合せください。

こども服



キャリーオン
CARRY ON

「こども服みらいファンド」は、(株)カイ
タックファミリーが運営するこども服の
オンライン買取サービス「キャリーオ
ン」と連携した寄付プログラムで、着られなくなったこども服
をお寄せいただくと、その買取査定額が「こどもの未来応援
基金」に寄付されます。

学生服



学生服リユースShop
さくらや®

学生服リユースShopさく
らやは、着なくなった学生服
をお寄せいただければ、そ
の買取査定額を「こどもの未来応援基金」に寄付す
る「学生服ツナグプロジェクト」を実施しています。

「こどもの未来応援国民運動」の3つの柱

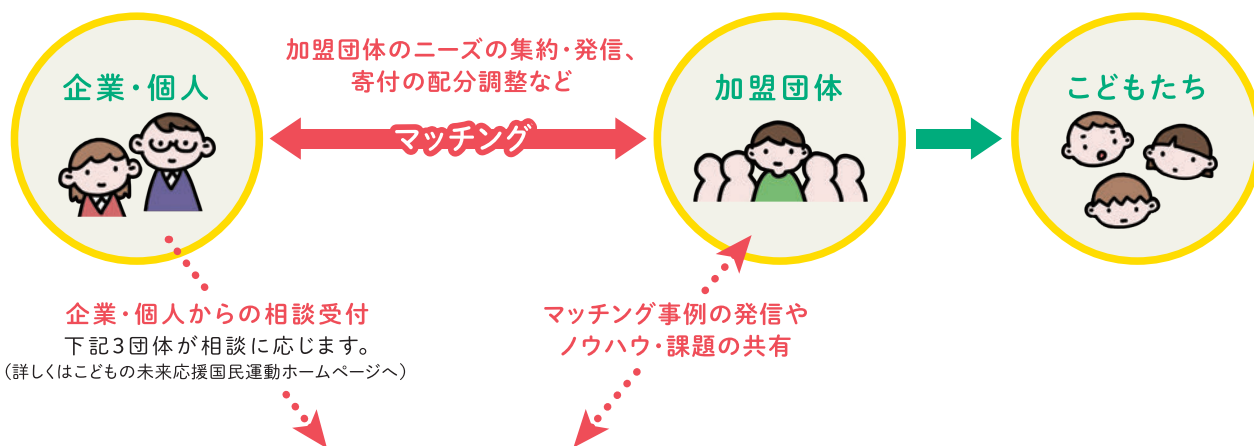


企業とNPO等の 支援ニーズをマッチング

「こどもたちにモノや体験を提供したいが、どうすればよいか分からない」という企業等のために、こども家庭庁は全国的なネットワークを持つ団体と連携する「マッチングネットワーク推進協議会」により受け入れ先の調整を行っています。草の根でこどもを支援する団体のニーズと、企業や個人の資源(リソース)をつなぎますので、ぜひご活用ください。



「支援をしたい」企業と 「支援を受けたい」団体を 橋渡しします



マッチングネットワーク推進協議会

構成団体概要

子ども家庭庁



学習支援

一般社団法人
全国子どもの貧困・教育支援団体協議会

2016年5月設立。教育支援活動の推進を図るため、団体間の情報交換、政策提言やイシュー・レイジング、フォーラムやシンポジウムの開催、調査・報告などを実施。



子ども食堂

認定NPO法人
全国子ども食堂支援センター・むすびえ

2018年12月設立。すべての子どもが、行きたいときに気軽に行けるように、子どもが歩いていけるところに安心・安全な子ども食堂がある、という状況の実現を目指す。そのために、①地域ネットワーク支援事業、②企業・団体との協働事業、③調査研究事業の3つの軸で事業を行っている。



フードバンク

一般社団法人
全国フードバンク推進協議会

2015年11月設立。フードバンク活動の推進を通して、食品ロス削減、貧困問題が解決する社会を目指している。





マッチング事例 2025年度(令和7年度)のマッチングから

(株)壺番屋 × 学習支援団体

「学び」を支えるためのPCや参考書、備品など

「カレーハウスCoCo壺番屋」を展開する(株)壺番屋(本社:愛知県一宮市)は、子どもたちの「学び」を支えることを目的として、(一社)全国子どもの貧困・教育支援団体協議会を通じて、全国の学習支援団体へ必要な支援について調査を実施。その結果をもとに、パソコンやタブレット、プリンター、学習参考書や問題集、備品などの寄贈や、模擬試験受験料の助成を行っています。この取組みは令和5年(2023年)から開始され、以来令和7年(2025年)まで毎年実施されています。



(一社)リビングアメニティ協会(ALIA) × こども食堂

住宅部品や建材を提供して、こども食堂の環境整備

(一社)リビングアメニティ協会(ALIA、事務局:東京都千代田区)は、住宅部品(設備・建材)メーカー団体ならではの取組みとして、全国のこども食堂の場の環境整備に寄与すべく、会員企業の商品・サービスを、希望するこども食堂に無償*で提供する「ALIAこども応援プロジェクト」を令和5年(2023年)から開始。認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえと連携して、希望するこども食堂の公募、選定などを実施しています。2023年5月以来、これまで6回の公募を行い47都道府県の約420カ所にガス給湯器や温水洗浄便座、断熱内窓などの商品のほか企業ミュージアム見学招待などを提供してきました。ALIAではこの取組みを2026年度以降も継続・拡充していくとしています。



*設置工事費等を自己負担する場合があります。

(株)荏原製作所 × 学習支援団体

「開封済み未使用」の事務用品を支援団体に寄付

(株)荏原製作所(本社:東京都大田区)は、ポンプや半導体製造装置などを展開する産業機械メーカーです。同社から「工事完了後に閉所される現場事務所で発生する文具などの未使用余剰品を、廃棄せずに活用したい」と「こどもの未来応援国民運動」へご相談をいただきました。そこで、(一社)全国子どもの貧困・教育支援団体協議会と連携し、受け入れを希望する学習支援団体とのマッチングをお手伝いしました。本取組みは令和5年(2023年)5月から年1、2回のペースで継続されています。本社で始まった取組みは社内に広がり、令和7年(2025年)11月には中部支社も参加いただきました。



東洋建設(株) × ひとり親家庭、学習支援利用者

海洋土木に触れる東京港ミニクルーズ見学会

総合建設業の東洋建設(株)(本社:東京都千代田区)は、学習支援団体に呼び掛け、2025年7月から8月にかけて2回、小学生及び中学生とその保護者(各回約40名ずつ)を対象とした特別見学会「親子で海から東京港を見てみよう!」を開催しました。これは様々な事情により体験や学習の機会が不足している子どもたちに、ミニクルーズを通じて夏休みならではの体験を提供するとともに、同社が得意とする海洋土木の一端に触れてもらうというもの。参加者の募集、調整を「こどもの未来応援国民運動」事務局がお手伝いしました。令和5年(2023年)より子どもたちを対象とした見学会を継続して行っており、累計約190名の子どもたちとその保護者に体験を届けています。



「こどもの未来応援国民運動」の3つの柱

情報発信

ホームページ、SNS等を通じた
情報発信と普及啓発。



「こどもの未来応援国民運動」を知りたいと思ったら？

ホームページやフェイスブック、パンフレットやポスターなど
情報発信でのご支援ご協力も

「こどもの未来応援国民運動」ホームページ

「こどもの貧困とは」「こどもと家族の方」「こどもを支援したい方」「支援団体の方」の4つのメニューで情報を発信しています。

こどもの未来応援 国民運動

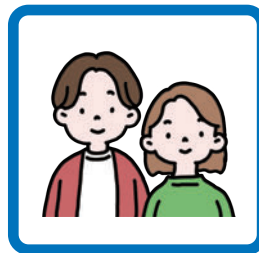


※ホームページの構成は2026年(令和8)3月時点のものです。



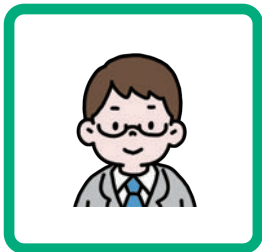
●こどもの貧困とは

こどもの貧困問題やこどもの未来応援国民運動などについて紹介しています。このパンフレットやチラシ、ポスターなどのダウンロードもできます。



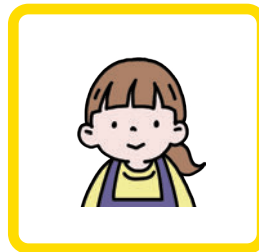
●こどもと家族の方へ

経済的に厳しい状況にあるこどもやそのご家族に向けて、①児童扶養手当や就学支援制度などに関する国や自治体のホームページの紹介、②こども食堂や学習支援、こどもの居場所などについて、都道府県などが開設するホームページへのリンク集などをまとめています。



●こどもを支援したい方

経済的に厳しい状況にあるこどもたちを支援したいとお考えの個人の方や企業に向けて、どのような支援方法があるか、実際にどのような支援事例があるか、などをご紹介します。「こどもの未来応援基金」の紹介や、これまでの採択結果や事業報告書もこちら。

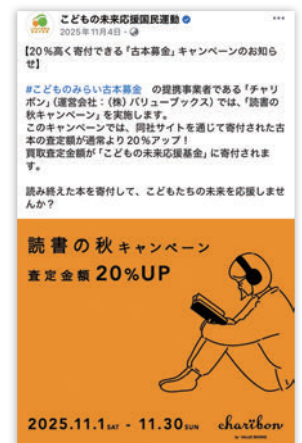
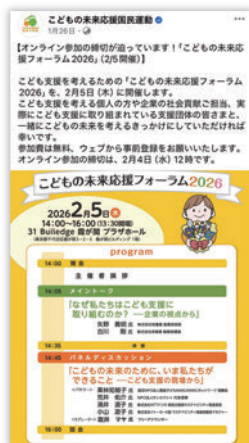
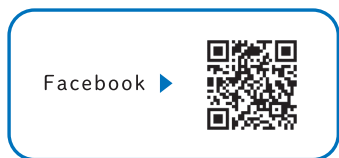


●支援団体の方

こども食堂や学習支援、こどもの居場所づくりなど、さまざまな切り口からこどもの支援に取り組んでいるNPO等支援団体に向けたページです。「こどもの未来応援基金」に採択された支援団体のご紹介もこちら。

「こどもの未来応援国民運動」フェイスブック

「こどものみらい古本募金」をはじめ、さまざまな寄付キャンペーンや、ご寄付に来庁いただいた企業の様子などをご紹介します。「こどもの未来応援基金」の公募情報などもこちら。



✎ パンフレット、チラシ、ポスター

「こどもの未来応援国民運動」の広報、情報発信のため、パンフレットやチラシ、ポスターがあります。ご希望の方は下記にお問い合わせください。

また、PDFを「こどもの未来応援国民運動」ホームページからダウンロードいただくこともできます。



お問い合わせ	こども家庭庁支援局家庭福祉課 「こどもの未来応援国民運動」事務局 ☎ 03-6771-8030 (大代表) ✉ kodomonomiraouen@cfa.go.jp
--------	---

✎ こどもの未来応援フォーラム2026

こどもに笑顔を、私たちの力で。支援活動と応援の輪を広げよう

こどもたちを支える草の根の活動を広げていくため、「こどもの未来応援フォーラム2026」(こども家庭庁主催、読売新聞社後援)が2月5日に開催されました。メイントークでは「なぜ私たちはこども支援に取り組むのか? — 企業の視点から」として、株式会社荳番屋が30年間に



わたり続けてきた「顔の見える支援」の考え方や具体例を紹介。パネルディスカッションでは「こどもの未来のために、いま私たちができること — 支援の現場から」として、NPO法人や企業の社会貢献担当者から、それぞれのこども・若者支援への取組みの意義や事例、課題を語り、意見交換をしました。

✎ 講師派遣にお応えします

従業員や経営幹部向けの会議やセミナー、研修会などで「こどもの貧困問題について説明してほしい」「こどもの未来応援国民運動について話してほしい」といったご要望があれば、ぜひお問い合わせください。

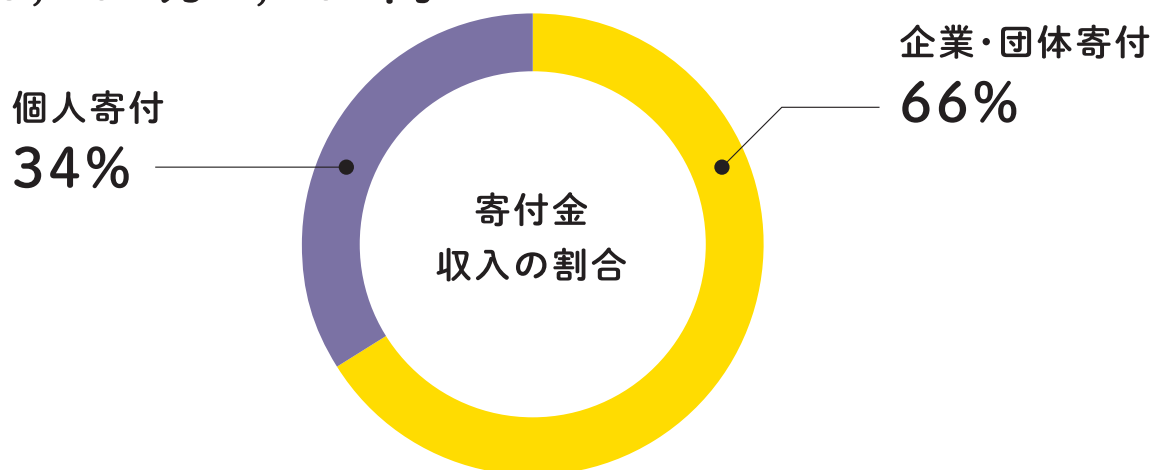


基金の財政状況

寄付金収入

令和6年度末時点(累計)

24億8,701万1,969円



寄付金支出

令和6年度末時点(累計)

17億8,259万3,000円

※寄付金は、クレジットカード決済手数料を除き、全額が支援に充てられます。

基金を活用して、支援団体が1年間活動

		活動期間	応募数	採択数
第1回	平成28・29年度支援団体	2016年10月～2017年9月	535団体	86団体
第2回	平成30年度支援団体	2018年4月～2019年3月	352団体	79団体
第3回	平成31・令和元年度支援団体	2019年4月～2020年3月	358団体	71団体
第4回	令和2年度支援団体	2020年4月～2021年3月	352団体	97団体
	新型コロナウイルス感染拡大への対応に伴う緊急支援	2020年7月～2021年3月	151団体	20団体
第5回	令和3年度支援団体	2021年4月～2022年3月	327団体	96団体
第6回	令和4年度支援団体	2022年4月～2023年3月	515団体	133団体
第7回	令和5年度支援団体	2023年4月～2024年3月	496団体	146団体
第8回	令和6年度支援団体	2024年4月～2025年3月	404団体	122団体
第9回	令和7年度支援団体	2025年4月～2026年3月	460団体	125団体
第10回	令和8年度支援団体	2026年4月～2027年3月	473団体	117団体


※令和8年1月時点

こどもの未来応援国民運動の歩み


<p>2015年 (平成27年) 4月</p>	<p>こどもの未来応援国民運動 発起人集会 関係閣僚や経済界、教育・福祉関係者などさまざまな分野から発起人が集い、民間資金による基金創設を検討することなどを決定しました。</p>
<p>10月</p>	<p>こどもの未来応援基金 創設 こどもの未来応援国民運動の一環として、寄付を募る活動を始めました。</p>
<p>2016年 (平成28年) 7月～</p>	<p>未来応援ネットワーク事業の支援団体を 年1回、全国から公募 基金事業審査委員会で決定 基金への協力企業や有識者などで構成。計画性、連携、広報、継続性などを審査。</p>
<p>2017年 (平成29年) 3月</p>	<p>マッチングネットワーク推進協議会の発足式 開催</p>

こどもの貧困対策は、SDGsのゴール1に位置付けられています。

※SDGs(Sustainable Development Goals):持続可能な開発目標



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



こどもの未来を応援する活動に取り組むことで、SDGs推進に貢献することができます。



ひろげよう、支援の輪

こどもの未来応援国民運動 ホームページ



こどもの未来応援国民運動 Facebook



こどもの未来 応援



【国民運動について】 こども家庭庁支援局家庭福祉課 TEL 03-6771-8030 (大代表)
【基金について】 独立行政法人福祉医療機構 TEL 03-3438-0211 (大代表)

こどもみんなが
こども家庭庁

文部科学省

独立行政法人福祉医療機構